

令和3年度 事業報告

I 法人実施事業

1. 講習会の実施

会員会社の人材育成および業務対応に必要な CPD 取得に資するため、新型コロナウイルス感染症への感染防止対応が継続される状況ではあるが、Web 形式での講習会を中心として、実施した。

Web 形式での開催とすることで、従来の会場定員に制約されることなく、会員に広く参加頂くとともに、全国の県測協・一般からの参加も広く募集して実施した。県測協会員の参加募集については、全測連にご協力頂いた。

令和3年度の CPD 発行数を、令和2年度、令和元年度と比較すると、下表のとおりとなる。詳細は6項に示す。CPD 発行数総数は、大幅な増加を達成し、コロナ前の6倍になっている。内訳では、東測協会員への CPD 発行数はコロナ前の3.7倍、県測協会員他への CPD 発行数はコロナ前の18倍と大きく伸びている。

表 CPD 発行数の推移（令和元年度～令和3年度）

年度	回数	開催方法	講習 CPD	提供 CPD ポイント			
				会員	県測協他	合計	比率
令和元年度 (コロナ前)	4回	リアル4回	30	2,220	420	2,640	100
令和2年度 (コロナ初年度)	4回	リアル2回 Web 2回	24	2,910	750	3,660	138
令和3年度 (コロナ2年目)	5回	Web 5回	30	8,372	7,720	16,092	609

注：講習会参加申込者数からの算定。未申請・手続き不備等で未発行の CPD あり。

(1) 測量新技術講習会(第1回)(Web方式)(地籍推進部会)

視聴期間 令和3年5月21日～5月31日

方式 Web方式

受講者 907人 会員539人、県測協会員358人、一般10人

測量系 CPD 6ポイント、建設系(設計) 6ポイント

講師依頼先 横浜測器、久永・イメージワン、山下商事、ジェノバ、福井コンピュータ、ニコン・トリンプル

特徴 賛助会員の提供する最新機器・システムを活用した測量事例の紹介

(2) 測量新技術講習会(第2回)(Web形式)(空間情報部会)

視聴期間 令和3年6月21日～6月30日

方式 Web方式

受講者 769人 会員457人、県測協会員304人、一般8人

測量系 CPD 4ポイント、建設系(設計) 4ポイント

講師依頼先 アジア航測、国際航業、パスコ、朝日航洋

特徴 会員会社の最新取り組み事例の紹介(3次元計測、衛星活用など)

(3) 公共物管理等の実務講習会 (Web 方式) (公共物管理部会)

視聴期間 令和3年8月6日～8月20日

方式 Web方式

受講者 481人 会員191人、県測協会員227人、一般3人、自治体職員60人

測量系CPD 8ポイント、建設系(設計) 8ポイント

講師依頼先 関東地方測量部 山後部長、技術委員(本田委員、岡田委員)、
東京法務局、アジア航測、東京都デジタルサービス局、
トプコンソキアポジショニングジャパン、山下商事

特徴 用地測量の基礎、所有者不明土地問題、東京都の都市DX、
Project PLATEAU、スマート東京、3次元計測等多様な講演を実施。

(4) 地籍調査講習会 (Web 方式) (地籍推進部会)

日時等 令和3年10月8日～18日

方式 Web方式

受講者 369人 会員165人、県測協会員197人、一般7人

測量系CPD 6ポイント、建設系(設計) 6ポイント

講師依頼先 国土交通省地籍整備課、東京都土地利用計画課、技術委員(吉川委員長)、東
京法務局、全国国土調査協会

特徴 地籍調査の最新動向(特に街区境界調査についてなど)、所有者不明土地問題、地
籍調査の積算等

(5) 最新測量技術を利用した技術講習会 (Web 方式) (空間情報部会)

日時等 令和3年11月19日～30日

方式 Web方式(北区赤羽公園で実施した作業を録画して活用)

受講者 328人 会員124人、県測協会員200人、一般4人

測量系CPD 6ポイント、建設系(設計) 6ポイント

講師依頼先 国土地理院(飛田院長、関東地方測量部 塩見課長)、パスコ、
国際航業、トプコンソキアポジショニングジャパン、T Iアサヒ、
ライカジオシステム、ニコン・トリンブル、アイサンテクノロジー、福井コ
ンピュータ

特徴 東京都北区赤羽公園を利用し、公園台帳・道路台帳を対象に、地上3Dスキャナー
の計測計画・計測・データ処理まで実習できる講習会を企画。現地での実作業を録画して
講習に活用。国土地理院飛田院長の基調講演も実施。

2. 都民無料相談の運営

会員社内に都民無料相談を設置し、都民からの測量設計に関する無料相談を実施した。

3. 共催事業

計画の「測量の日行事・くらしと測量・地図展」が新型コロナウイルス感染症拡大防止
のため、開催見送りとなったが、以下の事業を実施した。

(1) 令和3年度関東ブロック「災害復旧事業技術講習会」の開催(共催)

日時 令和3年10月22日

会場 東京都北区 赤羽会館

内 容 (一社)関東地域づくり協会と共催で「災害復旧事業技術講習会」を開催した。災害復旧事業の各種申請資料等を作成する際に必要な技術・制度等について理解を深めた。

4. 行政主催事業への協力

(1)東京都建設局 職員測量科研修 講師派遣

日 時 令和3年7月2日 (1日間)
会 場 東京都建設局職員研修所
受講者 東京都職員等 27名
内 容 ①測量作業規程と作業計画 (座学)
②測量機の設置方法 (動画視聴、デモ)
③角度の測定方法 (デモ、計算実習、解説)
④距離の測定方法 (デモ、解説)
⑤GNSS 測量 (ネットワーク型 RTK 法) (解説、デモ)

(2)東京都建設局 職員災害対策科研修 講師派遣

日 時 令和3年7月20日
会 場 東京都建設局職員研修所
受講者 東京都職員 40名 (リモート)
内 容 東京都建設局職員を対象にした「災害対策科」研修 (平常時の防災や災害時の初動対応、応急措置、本格復旧事業に必要な知識・技術を身につける) に、東京都と災害協定を締結している協会から講師を派遣し、災害時の取り組み等を講義した。

5. 基準点研究部会活動

基準点研究部会は、旧オリパラ部会から改称した。

令和3年度はウイズコロナ時代にふさわしい活動を模索し、オンライン方式やメディアを中心とした情報発信を実施する方針として、活動を行った。

(1) 基準点研究部会の活動の4つの軸

- ▶ 測量業界のインバウンド (基準点カード、カードインフラツーリズム)
- ▶ 担い手育成に関する活動 (動画等による測量技術のイメージアップ、教育支援)
- ▶ 測量の地歴調査研究 (東京の街をつくった原点の調査研究)
- ▶ 関連団体と連携した活動 (測量イメージアップ活動等)

(2)活動内容

①SURVER&TOKYO サイトによる測量イメージアップ活動 【通年】

②SNS による測量イメージアップ活動 【通年】

基準点カードを紹介、基準点インフラツーリズム紹介等を発信 (試行: Twitter)

③「基準点インフラツーリズム高尾山」調査

- ▶ 高尾山エリアに「基準点インフラツーリズム」を設定
合計 127 点
 - ・三角点: 高尾山、景信山、小仏城、材木沢等 合計 6 点
 - ・水準点: 基準水準点、一等水準点、旧水準点 (廃止) 合計 合計 5 点
 - ・御料局三角点: 坊ヶ谷戸、堂所山 等 合計 6 点

- ・宮標石（明治時代の御料地、現在の国有林と民有林の境界）：70 点以上
- ・その他の基準点　：約 20 点
- ・伊能忠敬測量隊の記録　10 か所以上
- 地域密着型のコラボレーション
地域連携候補先として、3 か所を訪問し協議中
 - ・タカオネ（アクティビティ宿泊施設、高尾山口駅前）
 - ・珈琲ふじだな（旧甲州街道、裏高尾町）
 - ・東京都高尾ビジターセンター（山頂、二等三角点「高尾山」近く）
- 伊能忠敬測量隊の甲州街道測量の検証
伊能大図(90 東京)及び伊能忠敬測量日記から第 7 次伊能忠敬測量隊（新暦 1811 年 6 月 25 日）の高尾山の測量方法について調査・分析を行い、測点ルートを推定した。
 - ・伊能測点高尾山薬王院の測量ルートの解明
 - ・伊能測点から江戸時代の旧甲州街道のルート
- 部会メンバーによる試行
高尾山周辺で基準点に係わる基礎的な調査活動については、部会内でのツーリズムの試行を実施

④「東測協 2022」への投稿

「東測協 2022」（P35-P38）に基準点インフラツーリズム高尾山の調査結果をまとめて報告した。

タイトル：高尾山は三角点、水準点、御料局三角点、宮標石と伊能測量隊の足跡等の先人達測量記録の宝庫

II 法人運営事業

1. グループ保険事業

団体生命保険、医療保険、団体労災保険、経営者傷害保険等の事務を行った。

2. 「東測協 2022」の発行

特集テーマ：「測量設計業における DX を知ろう」

技術委員会：「令和 3 年度開催 「Web 講習会」を振り返って」

女性の会：「女性が長く活躍するには」

若手・中堅技術者投稿、基準点研究部会（旧オリパラ特別部会）、協会活動報告など。

- 1 月 19 日に納品され、新年会会場で来賓や出席会員企業に配布するとともに、2 月中に関係各所への配布を完了した。

3. 女性の会

第 6 回女性の会を開催し、57 名が参加した。（令和 3 年 9 月 28 日オンライン）

- テーマ：女性が長く活躍するには

- プログラム

第一部：業種別の女性管理職や技術士、測量士有資格者の女性比率等の紹介ほか

第二部：ゲストスピーカーによる講演

岩橋純子様：(国土地理院地理地殻活動研究 C 地理情報解析研究室主任研究官)
田村洋子様：(株式会社サテライトイメージマーケティング 代表取締役社長)
第三部：自由討論

4. 教育機関への広報活動

工業高校、専門学校および土木・地理学系の学部へ会誌「東測協 2022」を送付した。

5. 会員懇親事業

計画の「定時総会」懇親会、「会員懇話会」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、見送ることとした。

アンケート調査を行い、会員の協会活動及び発注者への要望等を把握した。

(1) 新年講演会の開催

日 時：令和4年1月19日

場 所：椿山荘

講演会：①「関東地方整備局の最近の話題」

国交省関東地方整備局企画部長 見坂茂範氏

②「世界のゴルフとスポーツビジネス」

プロゴルファー・ゴルフ解説者 タケ小山氏

(2) 会員懇話会に代わるアンケート調査

調査期間 9月2日～9月24日

回答状況 51社/82社が回答（回答率62.2%）

6. 協会ホームページによる情報提供

会員企業の紹介充実

会社紹介の機会確保と、会員拡大時のインセンティブ、協会内外の交流促進を目的に、自社ホームページを整備されていない会員企業向けに、同社を紹介するページを協会ホームページ内に新設した。

7. 会員拡大活動

昨年度から継続する新型コロナウイルス感染症の影響で、訪問活動などが実施できなかったため、令和3年度も会員拡大キャンペーンを継続し、会員数の拡大をはかった。

III 法人管理事業

1. 調査・研究及び指導

(1) 企業データ調査

規模別会費の算定基礎資料として、また、協会活動の基礎データとして毎年調査しているが、令和3年度は、令和2年4月1日から令和3年3月31日の間に該当する決算期を対象に調査した。

(2) 働き方改革特別部会活動

6回の部会を開催し、上記会員懇話会に代わるアンケート調査の結果を踏まえながら、令和3年度の活動テーマの検討を行い、令和3年度は「履行期限の平準化」、「ウィーク

リースタンス」、「人材育成・人材確保（若手技術者育成・確保に加え、既存技術者のリカレント教育を含む）」のテーマについて、協会会員企業における取組状況、今後に向けた課題等について会員企業へのヒアリングを通じて把握し、協会としての対応策や発注者への要望事項をとりまとめた。

2. 情報及び資料の収集並びに提供

(1) ホームページによる協会活動及び測量設計に関する情報提供

定款、会員名簿及び業務、財務等に関する資料、講習会の案内・アンケート結果をホームページに公開している。

(2) 東測協メール会報の発行

会員への情報を電子メールにて逐次流している。

3. 関係機関及び団体との連絡・提携

(1) 一般社団法人全国測量設計業協会連合会との連絡・提携

国への調査や要望、国からの情報連絡、など全測連と連携した。

(2) 関係機関等に対する陳情・要望活動

①令和4年度東京都予算に対する要望活動

対東京都議会自由民主党

日 時 令和3年9月3日

会 場 東京都議会議事堂2階 第2会議室

出席者 小宮あんり幹事長他自民党都議、岩松会長他5名

(要望事項)

一 首都東京の着実な発展に向けた公共投資予算の確保について

1) 災害に強い東京にするための社会資本整備の一層の推進について

2) 都内における地籍調査の促進について

二 デジタル社会に対応した社会資本整備の推進について

1) 公共施設整備・管理のデジタル化・三次元化の推進について

2) ウィズコロナ時代の業務推進方法に向けた取組について

三 公共施設の品質確保や建設分野の生産性向上に向けた取組について

1) 入札手続きにおける最低制限価格の本格導入と厳格な低入札価格調査の実施について

2) 適正な履行期限の確保、履行期の平準化等の推進について

②令和4年度国家予算・税制改正等に関する要望活動

対自由民主党東京都支部連合会

日 時 令和3年11月22日

会 場 自由民主党本部8階

出席者 中川雅治参議院議員、高木啓衆議院議員他衆参国會議員、松林・野崎両副会長他3名

(要望事項)

一 国土強靱化の加速と社会資本整備分野における三次元デジタル化の促進について

1) 防災・減災、国土強靱化対策に資する測量関係業務の推進

- 2) デジタル化社会の構築に向けた三次元デジタルデータの整備と活用
 - 3) 業務手続きのデジタル化・DXの促進
 - 4) 受発注者間におけるウェブ会議の活用に向けた条件整備について
- 二 測量業務の新たな展開に向けて
- 1) 脱炭素社会の実現に向けた基盤データの整備と活用
 - 2) 新たな技術を活かす規制の見直し
 - 3) 測量技術の革新に対応した積算体系の見直し
- 三 社会資本整備分野におけるエッセンシャルワークとしての測量設計業の健全な発展に向けて
- 1) 品確法に基づく発注関係事務の運用指針の徹底
 - 2) 履行期限の平準化の促進
 - 3) 測量技術者単価の継続的見直し

(3) 関係機関等との意見交換会

①国交省関東地方整備局との意見交換会の開催（関東地区協・東京地区協共催）

日 時 令和3年12月1日

（要望事項等：東京地区協要望分）

インフラ分野のDXの推進と3次元データの整備の促進について

（自由討議議題）

- 一 総合評価の技術点の算定における技術提案書のウェイトの強化について
- 二 入札結果に係る情報提供の対象拡大と迅速化について
- 三 業務成績評定について

②東京都建設局との意見交換会の開催

日 時 令和3年11月17日

出席者 建設局企画担当部長他6名、岩松会長他3名

（討議事項）

- 一 グリーンシフト・デジタルシフトに対応した社会資本整備の推進について
 - 1) 脱炭素化を進める取組の強化と測量設計業の活用
 - 2) 防災DX、スマート東京の推進のベースとなる三次元デジタルデータの整備促進
- 二 災害に強い首都東京に向けた官民連携方策について
 - 1) 建設事務所を中心とした防災体制の整備
 - 2) 通常業務における地域企業への発注
- 三 業務の品質確保に向けた取組等について
 - 1) 測量業務関連予算の推移と維持確保
 - 2) 最低制限価格の本格導入
 - 3) 履行期限の平準化、適切な履行期間の確保
 - 4) 総合評価方式による発注の適用拡大と制度改善
 - 5) 業務成績評定書へのコメント記載
- 四 新しい日常下における業務推進方法について
 - 1) 測量業務における情報共有システムの適用
 - 2) 積算基準のネット上での公開
 - 3) 受発注者間におけるウェブ会議の活用に向けた条件整備

③東京都財務局との意見交換会の開催

日 時 令和3年11月15日

出席者 小泉契約調整担当部長、松永契約調整担当課長、高柳契約調整技術担当課長他経理部職員
岩松会長他5名

(討議事項)

一 品質確保に向けた取り組みについて

- 1) 最低制限価格の本格導入
- 2) 技術力をより一層反映した総合評価方式への制度見直し
- 3) 都内に本社を有する企業を入札参加条件とする発注業務の確保

二 新しい日常下における受発注者間の取り組みについて

- 1) 履行期限の平準化、適切な履行期間の確保
- 2) 行政手続きにおけるデジタル化の推進

(4) その他関連団体との連絡・提携

その他関連団体と総会などを通じて交流を深めた。

4. 総会の開催

第47回定時総会

開催日 令和3年6月3日

場 所 測量年金会館 2階

議 題 第1号議案 令和2年度貸借対照表承認の件

第2号議案 令和2年度正味財産計算書及び収支計算書承認の件

5. 災害対応への取り組み

計画の「災害対策セミナー」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を見送ることとしたが、以下の事業を実施した。

(1) 災害協定に基づく行政への協力

国交省関東地方整備局 (H24.1.10 協定締結、H25.8.1 協定変更、その後自動更新)

東京都建設局 (H25.6.25 協定締結、H29.3.31 実施計画書改訂)

東京都港湾局 (H25.6.25 協定締結、実施計画書協議中、震災訓練の実施)

(2) 東京都職員等研修会(災害対策科)講師派遣(再掲)

(3) 災害対策特別部会活動

①東測協BCP計画の策定検討

②東京都との災害協定に係る協議調整(実施計画書の協議等)

③災害対策訓練の企画運営

令和3年度災害対策訓練の実施 令和4年2月17日

(訓練内容)

- ・災害対応連絡訓練 緊急撮影対応可否、被害状況調査対応可否
- ・災害対策本部立ち上げ訓練 本部員参集等

④災害対策セミナーの企画運営(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催見送り)

⑤東京都災害対策訓練への参加

港湾局震災訓練に参加

日 時：令和4年2月10日

内 容：メールにて調査等応急復旧体制の連絡訓練